

授業科目名	ミクロ経済学①		
担当者名	作前 祐次		
開講年度学期	2023年度 前期		
単位数	36時間 2単位	年次	大学編入科2年次
授業の概要と方法	<p>『企業行動理論』と『消費者行動理論』、そして両者の思惑がぶつかる『市場』の理論を理解していく。</p> <p>授業は、銀行員時代に培った『生活に密着したお金の知識』を取り入れながら、市場の理論をわかりやすく、身近なものとして感じることができるように展開していくことで理解度を深めていきます。</p>		
授業の到達目標	<p>近畿大学通信教育部の単位取得と大学編入試験合格を目標に、ミクロ経済学への関心を深め、日ごろニュースを見ながら自らの考えを構築し、大学編入した暁には遺憾なくその知識と考えを職務に活かせること。</p>		
授業計画	<p>4月：需要の価格弾力性 予算制約線と無差別曲線        5月：代替効果と所得効果 ギッフェン財        6月：マーシャル的調整過程 ワル拉斯的調整過程        7月：レポート作成 損益分岐点と操業停止点 単純独占        9月：消費者余剰と生産者余剰 無差別曲線 試験準備</p>		
成績評価の方法	<p>出席率、平常点にて評価します。</p> <p>評価比率 出席率 30% 科目終末試験 70%</p>		
授業外で行うべき学修	<p>予習としてテキストにて事前勉強をおこなうこと。</p> <p>テキスト以外にもインターネットで検索、ニュースを見るなど、積極的な姿勢で理解を深めてください。</p> <p>また、授業で行った範囲は問題集を使って定期的に復習をしてください。</p>		
使用テキスト	近畿大学通信教育テキスト『ミクロ経済学』		
参考書（参考資料等） 《0～120字程度》 ※注7	<p>『入門ミクロ経済学（第2版）』 新世社        『ミクロ経済学（第2版）』 日本評論社</p>		
その他	難しい言葉やイメージしづらい内容も出てくると思います。わからないことを放置せず、質問や復習をしっかり行うことが重要です。		